

アルンブリグによる治療を受ける 患者さんへ

アルンブリグの服薬により、「**間質性肺疾患**」があらわれることがあります。
間質性肺疾患があらわれる又は悪化するおそれがありますので、間質性肺疾患又はその既往歴のある場合は、事前に担当医に申し出てください。
以下のような症状があらわれたら、すみやかに担当医に連絡してください。

- 空咳 (痰を伴わない咳)
- 息切れ、息苦しさ (階段をのぼったときに息切れしやすくなる、など)
- 発熱 など

間質性肺疾患とは

肺の間質という部位に炎症が起こり、呼吸がしづらくなる病気です。
アルンブリグの服薬開始初期に発現することもあるが、長期間服薬を継続してから発現する場合があります。
初期には無症状か軽い息切れがみられる程度ですが、症状が進行すると、重篤化して死に至る可能性があるため、すみやかな診断と治療が必要です。

**症状(空咳、息切れ、発熱など)があらわれたら、
すみやかに担当医に連絡してください。**